

■ドイツ：廃止された石炭火力発電所をエネルギー貯蔵施設として再利用する計画

2019年3月18日の現地報道によると、ドイツ航空宇宙センター（DLR）は、ドイツ国内にある廃止された石炭火力発電所を、エネルギー貯蔵施設として再利用する実証試験を計画している。DLRはこれまで熔融塩による蓄熱について研究しており、今回の計画は、廃止された石炭火力発電所の熔融塩蓄熱設備への転換を目指すもので、3年以内に商業規模での実証試験が開始される可能性があると考えられる。DLRによると、この計画は再エネの余剰電力を熔融塩に熱として蓄え、蓄えた熱を利用して発電する仕組みで、廃止される石炭火力発電所の雇用を一定程度維持できることや、既存の設備を流用することで投資額が節約可能なことを利点としている。